



平成25年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【中央地区】

平成26年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 中央地区健康づくり普及員協議会	健康ウォーキングで中央地区を知ろう!	<p>中央地区は、ここ数年間のデータで、他地区に比べ、成人の高脂血症率に高い数値が出ている。そこで、中央地区の住民の生活習慣病の予防に向けた取り組みとして、ウォーキングが効果的であることから、日常生活に運動習慣を身につけることを目的としてこの事業を企画する。</p> <p>24年度「地域活性化事業交付金」により作成した「道・知・楽マップ」を活用して地域の史跡や文化的施設を探索しながら、地域を知りながらのウォーキングで、運動習慣を継続的なものにする動機づけとする。また、地域を知ること、まちづくりの意識高揚に寄与するものとする。</p> <p>この事業実施に向けては、より多くの住民の参加を呼び掛ける上で、マップの増刷が必要である。24年度8000部を発行し、約7900世帯の自治会員には全世帯に配布し、残部は僅かとなった。中央区の広報誌や区の情報コーナーの展示などで、多くの市民がマップの存在を知る機会も多く、より多くの方にこのマップを活用してウォーキングを楽しんでいただきたいと考え5000部の増刷が必要であるとする。</p>	ウォーキングを契機に生活習慣病予防と中央地区を知ってまちづくりの意識を向上させる。	<p>24年度作成したウォーキングマップ「道・知・楽マップ」を活用し、ウォーキング会を実施する。設定した6コースの内2コースをウォーキングし、コース上にある中央地区の史跡や文化施設など、魅力スポットなどを紹介する。</p> <p>ウォーキングの効果を確認するうえで、体力測定を行う。初回と、1年後の同事業においての測定値との比較で運動習慣が身についたか等を確認していく。</p>	5月31日	251,000	251,000	251,000
2 もみの木コンサート実行委員会	第12回もみの木コンサート	<p>中央地区は、急速な市街化とマンションの建設により、住民意識の希薄化が感じられる。自治会加入率の低下など顕著である。こうした現象の防止には共助、支え合いという意識の高揚が極めて重要であるので、この事業を通じて、子ども、青少年、地域住民相互の連携を図り地域活性化につなげる。</p>	<p>1. 中央地区住民の「心のふれあい、共助、支え合い」の意識高揚を図る</p> <p>2. 自治会及び子ども会の加入促進につなげる</p> <p>3. 市街化が顕著な地区に音楽を通じて文化の芽をそだてる</p> <p>4. 音楽を通じて、学校・子ども・地域の連携を深める</p>	<p>第12回目となる「もみの木コンサート」という音楽会を開催する。</p> <p>1. 地区内の小中学校、高校の6校の児童・生徒による器楽合奏・合唱・吹奏楽などの発表</p> <p>2. 地域のシニアグループによるコーラスの発表</p> <p>3. 地域高齢者招待などもおこない、子ども達と地域住民の接する機会として交流・理解を深める</p> <p>4. 地域住民の結びつきの一環として記念品の手作りを協力して行う</p>	7月25日	440,000	440,000	440,000
3 中央地区自治会連合会	中央地区自治会加入促進事業	<p>中央地区の自治会加入率は44.7%(平成25年4月1日現在)と低迷し、遞減傾向が進行している。それによって、一部の人に自治会の業務が集中してしまっている。また、市民活動の担い手が不足してしまい、自治会活動に支障をきたしている。</p>	自治会への加入を促進し、地域の活性化を図る。	<p>中央地区版の自治会への加入促進リーフレットを作成し、自治会未加入者にポスティングを行う。</p> <p>加入促進ポスターを作成し地区内の掲示板等への掲示を行う。</p> <p>貸し出し用のノボリを作成し、単位自治会の行事等で掲げる。</p>	9月2日	604,275	604,000	604,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	中央地区民生委員 児童委員協議会 子 育てマップ作成委員 会	子育てマップ作成事業	<p>中央地区は核家族で子育てをする世帯や転居して行く世帯が多い状況にあります。</p> <p>中央地区民生委員児童委員協議会では平成15年に子育てマップを作成し、19年に改訂版を発行しています。現在は在庫もなく、子育てをしている方達にマップを配布できていない状況です。若い世代はインターネットを活用した情報の入手方法もありますが、地区内の子育てに必要な様々な情報がひとつに網羅されるものではなく、乳幼児を抱える子育て中の方達からも新たなマップの作成が必要とされています。</p>	<p>中央地区の乳幼児を抱える世帯全てにマップを配布することで、地域の病院等社会資源を知る一助とします。また、公園や仲間づくりの場の情報を掲載することで、ひとりで抱えこまず、安心して子育てができるようになることを目的とします。</p>	<p>規格 日頃持ち歩けるマップとなるよう、B4サイズを8つ折りにし、母子手帳に挟める大きさで作成します。</p> <p>5年位利用できるよう9,000部作成します。</p> <p>内容 掲載内容は子育て中の人達にアンケートを実施し、項目を選定します。現在は下記内容を予定しています。</p> <p>片面は中央地区の地図を掲載し、小学校・公園・子どもセンター・児童館・病院・AEDの設置場所等落とし込みます。</p> <p>裏面にはコミュニティ保育(サークル)や子育てサロン等仲間づくりの場、親子サロン、病院(小児科・耳鼻科等)の一覧、保育園や幼稚園(地域開放等している)の一覧、相談機関の連絡先、子育て支援サービス(ファミリーサポートサービス等)などの紹介を掲載します。</p>	9月17日	300,000	300,000	300,000
5	矢部第四地区活性化 推進協議会	第4回 YABE4 やん べえまつり	<p>過去3年間実施した「YABE4やんべえまつり」は予想以上の成果を得られました。その後の地域事業への参加会員は増加し、活性化が進んでいますが、自治会員加入率は50%を割り込んでおります。そこで今年度も加入率の促進と異世代交流を目的に「第4回 YABE4 やんべえまつり」を実施したい。</p>	<p>長寿会、子供会、大学生等の参画をいただき、異世代交流をはかるイベントを企画し、地域の未加入世帯へのアプローチにより加入促進を図る。</p>	<p>パンフレット等の資材を活用し、促進を図る。</p> <p>地域のシンボルである「村富神社」の歴史探求と昔あそび、今あそびを通じて異世代交流を図る。</p>	9月25日	200,000	100,000	100,000
6	中央地区まちづくり 防災プロジェクト委員 会	中央地区まちづくり防災 プロジェクト	<p>中央地区は、東日本大震災以降、防災に対する関心が高まっています。しかしながら、地域の防災組織や一時避難所・避難所の周知が徹底されていない状況にあります。</p>	<p>住んでいる地域の防災組織や、避難所等の正確な情報を提供するとともに、地域防災活動の大切さや重要性について、意識の高揚を図ることを目的とします。</p>	<p>わが家の防災カルテを作成し、地区内の各世帯に配布する。</p>	9月25日	707,000	707,000	707,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
7 中央地区にぎわいづくり協議会	絵本コンクール実施事業	<p>中央地区は、平成19年度に実施した通行量調査で、平成15年度に比べて通行量が半分以上に激減するなど、街の賑わいの喪失が懸念されている。このため、相模原中央商店街では地域をもっと楽しく、住みやすい、素敵な街にしていかなければ、商店街としての未来もないとの認識に立ち、地域に貢献できる事業を探った。現在の小学生は少子化、核家族化により、家庭内のコミュニケーションが減っていること塾やおけいこごとと忙しいことや地域の安全性への不安から子ども同士で外で遊ぶ機会が減ったこと家での過ごし方についてもテレビを見たりゲームをしたり音楽を聴くなど、受動的な行動が主となっていることの3点から、自分を表現するといったコミュニケーション能力や自分で何かを作り出す創造力の低下が懸念されている。そこで、相模原中央商店街では絵本を切り口とした青少年健全育成事業を実施し、さらに「絵本が生まれるまち」というコンセプトで街おこしをしようと考えた。</p>	<p>未来を担う子どもたちが絵と文章を一から作りだす絵本制作にチャレンジすることで、自分の気持ちや考えを整理して表現することを学んでもらい、豊かな人格の形成と優れた創造力の向上に資するとともに、心豊かな地域文化の創造や親子間のコミュニケーションの促進、地域住民の交流に貢献する。さらには絵本をツールとした様々な事業を実施し、絵本を通じた街おこしを实践する。最終的には「中央地区」=「絵本がうまれるまち」という地域ブランドを確立する。</p>	<p>1.市内の小学校に白絵本を配布し、自由に絵本を描いてもらう。 2.描いてもらった絵本を集め、学校関係者、絵本作家、商店街関係者、地域住民によってコンテストを実施する。 3.コンテストで入賞した作品については表彰式で表彰する。最優秀作品については製本して市内の図書館、公民館、児童館等に配布する。 4.全ての応募作品を市民さくらまつりで展示し、広く市民にみていただく。</p>	9月30日	600,000	500,000	500,000
						3,102,275	2,902,000	2,902,000